・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

教育の基本理念
・豊かな人間性
・生命、人権の尊重
・生きる力

○横浜市基本構想
○新よこはま教育プラン
・「生きる力の教育」の推進
・「ゆとり」「活力」「魅力」ある学校づくり
・「まち」とともに歩む学校づくり
○横浜教育ビジョン
学校教育において身に付ける３つの力
・学ぶ楽しさと創り出す喜びを原動力に、夢や希望に向けて努力する力
・お互いの違いを認識したうえで、協働・共生する力
・進取の精神と多様性を認める柔軟さをもち、変化する社会を生き抜く力

○横浜版学習指導要領
一人ひとりの子どもにしっかり教え、しっかり引き出す指導を通して、「知」「徳」「体」「公」「開」で示す“横浜の子ども”の育成をめざします。

・子どもや地域の実態
・地域の願い
・保護者の願い
・教職員の願い
・港南中学校の学校教育目標

吉原小学校の願い

・自他の良さを知り、互いを認め合いながら、主体的に学習する子ども
・自分を取り巻く環境に優しさをもって接し積極的に働きかける子ども
・力を合わせ、最後まで取り組む子ども
・元気で明るく生活する子ども

学校教育目標　**かがやき　ひびきあい　はばたく子**

○子どもたちが学ぶ意欲をもち、ねばり強く問題を解決できるようにします。（知）
○子どもたちが人への思いやりをもち、基本的なモラルを身に付けることができるようにします。（徳）
○子どもたちが自分や他者の生命を大切にし、健やかな体をつくることができるようにします。（体）
○子どもたちが地域社会の中で共に学び合い、自分らしさを発揮できるようにします。（公）
○子どもたちが社会の変化に対応することができるようにします。（開）

学校評価

学校教育目標を実現するための具体的な目標

○教師主導の学習指導から子ども中心の学習をめざして、課題解決学習や体験学習、個を生かした学習等を取り入れ、感動ある活力に満ちた教育活動を推進します。（知）
○自分と同じように相手を尊重し思いやる心や態度を育てるとともに、正しく善悪を判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切にする態度を育てます。（徳）
○自分や他者の生命を大切にする心や態度を育てると共に、望ましい生活習慣を身に付け、進んで健やかな体をつくろうとする態度を育てます。（体）
○地域の人との交流や施設・環境を生かした活動を充実させ、地域に愛着をもち、自分らしさを発揮できる子を育てます。（公）
○「安全教育」「情報教育」「食育」「キャリア教育」などをもとに、社会の変化に対応することができる力を育てます。（開）

低学年目標

中学年目標

高学年目標

教科等指導において重点的に育成する資質・能力

豊かな心の育成
1　道徳教育の充実
・道徳の時間の教材の工夫、日常化へ向けた取り組み
2　規範意識や礼儀を大切にする指導の充実
・時刻・時間を守ることやあいさつ、ていねいな言葉遣いの日常化
3　人権教育「みんな　なかよし　吉原っ子」の充実
・「思いやり」をキーワードに、自他の生命を尊重し、自分の大切さと共に他者の心の痛みが分かる人権感覚・意識の育成

健康でたくましい体の育成
1　体力向上の取り組み
・外遊びの励行
2　食育の充実
・食教育の実施

国語力及び学習の基盤的能力の育成
1　読書活動の充実
・全校読書タイムの取り組み
2　「話す・聞く」指導の充実
・話し方、聞き方の基本指導
3　「読み」「書き」「算」の指導の徹底
・ノート指導の充実

コミュニケーション能力の育成
1　心豊かな人間関係づくり
・集団活動や体験的な活動の充実
・なかよし活動の取り組み
2　社会的スキルの育成
・子どもの社会的スキル横浜プログラムの実施
3　英語教育の充実
・教材や指導の工夫
4　キャリア教育の充実
・人間関係形成能力の育成

情報化社会を生き抜く能力の育成
1　情報教育の充実
・情報モラルの育成
2　図書館教育の充実
・図書室の整備

社会の変化に対応する能力の育成
1　安全教育の充実
・安全指導の取り組み
2　福祉教育の充実
・地域の高齢者との交流

具体的取り組み

○「横浜の時間」の創設
～総合的な学習の時間の再構築～
・体験的な活動、問題解決的学習
・地域に根ざした学習課題
・教育課題
○小中学校英語教育の推進
・コミュニケーション能力
・国際理解教育
○読書力向上へ向けた横浜型指導モデルの推進
・朝の読書タイム、読み聞かせ
・読解力
○一人ひとりのニーズに対応した教育の実現
・知識・技能の修得と活用
・特別支援教育
・取り出し指導

低・中・高学年別の指導の重点

各教科等の目標

国語
社会
算数
理科
生活
音楽
図工
家庭
体育
道徳
特別活動
横浜の時間

児童指導

教育課程

児童理解

学習環境

研究体制

全体計画